

2010 年度オーストラリア国際交流研修報告書

(2010年7月26日～8月9日)

大阪府立能勢高等学校
2010.9.16 国際交流委員会

1. Mudgee について



落ち着いた古い町並みが残る

Mudgee はニューサウスウェールズ州の内陸地にあり、シドニーから北西に車で4時間、約390kmのところにある人口1万人程度の小さな町である。とは言っても周囲は主に羊の牧場、ブドウやオリーブ畑、炭鉱、起伏のある平原に囲まれており、車で2時間程度走らないと Mudgee 以上に大きな町はない。Mudgee に住む人達はその静かで平和かつ生活に必要なものはそろっている環境、住む人の人柄を愛している。都会から離れているせいか、人情味あふれ、常に人のぬくもりを感じる事ができる町であった。

2. 交流校：Mudgee High School (日本語教育に熱心)

Mudgee High School は Mudgee

の中心にある中高一貫共学公立学校。日本でいう中学1年生 (year7) から高校3年生 (year12) が通っている。生徒は Mudgee の町の住民だけではなく、近郊からスクールバスで約2時間かけて登校する生徒もいる。全校生徒数は千人弱。オーストラリアでは外国語は必修科目ではないが Mudgee H.S では外国語の授業として日本語があり (その他の言語はない) 7年生時に必ず日本語の授業を受け、8年生からは選択科目として受講している生徒が多い。近隣の私立でも外国語を教える学校はなく、それを目的に Mudgee に来る生徒もいる。



マジー高校正門前の歓迎の案内板

3. 参加者数 (計25名) (女子/男子)

	能勢高校 (2名)	北千里高校 (17名)	茨木西高校 (6名)	付添教員 (3名)	能勢高校 参加生徒名
3年	0/0	1/0	1/0	能勢 1名	2年：石田 麻莉 遠山 遥
2年	2/0	7/1	3/0	北千里 1名	
1年	0/0	3/1	2/0	茨木西 1名	

4. 日程 (時差は+1時間)

	日付	時間	内容
1	7/26 (月)	9:00 11:10 17:30 21:30	関西空港集合、チェックイン、出入国に関する説明 関西空港発 MH53 便 クアラルンプール着 クアラルンプール発 (シドニー行きに乗り換え)
2	7/27 (火)	8:00 10:00 12:00 15:30	シドニー空港着 シドニー空港発 (バスでマジーへ移動) 世界遺産ブルマウントロココ列車とケーブルカー (ランチ) マジー高校着、ホストファミリーと対面アフタヌーンティー、ホームステイ開始

3	7/28 (水)	午前 午後	バディの授業に参加 ウェルカムセレモニー 全校集会で挨拶、プレゼント贈呈 バディの授業に参加、 バディと共に町中心部散策 (Date 先生の案内)
4	7/29 (木)	1~2 3~4 5~8	体育授業に参加 years8 生徒とドッジボール バディの授業に参加 ESL クラス(Smith 先生)
5	7/30 (金)	1~2 3~6 7~8	日本語の授業に参加 (Date 先生) ESL クラス(Smith 先生) バディの授業に参加
6~7	7/31 (土) ~8/1 (日)		ホストファミリーと共に過ごす
8	8/2 (月)	1~4 5~6 7~8	ESL クラス(Cooke 先生) 昼食会 (中庭でバーベキュー) 日本語の授業に参加 (Date 先生) バディの授業に参加
9	8/3 (火)	1~2 3~6 7~8	学校農場見学 ESL クラス(Cooke 先生) ブッシュウォーキング(Redbank Dam)
10	8/4 (水)	1~2 3・4 5~8	家庭科 (アンザックッキー) バディの授業に参加・全校集会 ESL クラス(Cooke 先生)
11	8/5 (木)	終日 夜	遠足 (Dunns Swamp 国立公園) バディと一緒に フェアウェルパーティー (学校体育館にて)
12	8/6 (金)	1~4 5~6 7~8	ESL クラス(Cooke 先生) 現地校生徒の文化交流体育授業に参加 おみやげ購入タイム (マジー高校特設おみやげショップ設置)
13	8/7 (土)	12:00 15:00 18:00	マジー高校発 (バスでシドニーへ移動) 世界遺産ブルマウンテン (スリ・シスターズ) 見学 シドニー着、ダーリングハーバー見学おみやげ購入 ホテルチェックイン、夕食
14	8/8 (日)	8:00~11:30 12:00・14:30 20:30・23:50	ホテル→市内見学 (ミスマッコリースポイント→オペラハウス→ロックス) →空港へ シドニー空港着・シドニー空港発 クアラルンプール着・クアラルンプール発
15	8/9 (月)	7:30 8:30	関西空港着 解散

5. 学校の時間割 (38分×8時間授業)

月・火・木・金		水	
出席点呼	9:00~9:16	出席点呼	9:20~9:29
Period1	9:16~9:54	Period2	9:29~10:07
Period2	9:54~10:32	休憩	10:07~10:27
休憩	10:32~10:52	Period3	10:27~11:05
Period3	10:52~11:30	Period4	11:05~11:43
Period4	11:30~12:08	全校集会	11:43~12:08
休憩	12:08~12:18	休憩	12:08~12:18
Period5	12:18~12:56	Period5	12:18~12:56
Period6	12:56~13:34	Period6	12:56~13:34
ランチタイム	13:34~14:09	ランチタイム	13:34~14:09
Period7	14:09~14:47	Period7	14:09~14:47
Period8	14:47~15:25	Period8	14:47~15:25



休憩時間に中庭で軽食

6. 学校での過ごし方 (常にバディー生徒とともに)

(バディーとは、ホストファミリーで Mudgee H.S の 7 年生から 11 年生の生徒)

ほとんどのホストファミリーが学校近くに住む家庭で、バディーと一緒に徒歩や保護者の車で登校する。スクールバスが市内から近郊を走っており、バディーと一緒にスクールバスを利用して登校する生徒もいる。朝、9時前に登校し、中庭で友達と話をして過ごす。バディーと共に教室で出席点呼後、プログラム通りにバディーに連れられて活動場所まで来る。ESL(English as a second language)や日本語の授業に参加する時以外は常にバディーと共に過ごす。自宅で過ごす時間はもちろん、登下校、教室移動、休憩時間、ランチの時など2週間の間、片時も離れることなくお世話になった。そのお陰で学校生活にすぐに慣れ、他の生徒とのコミュニケーションも自然と取れるようになった。

ランチがとても遅い時間に設定させているので、始めの20分休憩時に軽いスナックを食べる生徒が多い。ホストファミリーはランチ用と休憩用にたくさんお弁当を持たせてくれていた。お弁当がないときは売店(Canteen)で軽食を買うことができる。基本的にHR教室がないため、中庭などで食事をする。

マジー高校側の配慮で、遠足、体育の交流授業や料理講習の特別授業・中庭でのBBQ昼食会などが日本人生徒のために企画され、交流の良い機会となった。



バディーと登校

7. 家庭での過ごし方 (家族の一員として)

ホストファミリーは経験のある家庭がほとんどであり、家族同様にもてなしてもらい、暖かいオーストラリアの家庭生活を体験できることが出来た。最初は英語が全く分からず戸惑っていた生徒が多かったが、日が経つにつれコミュニケーションがとれるようになり、すっかり家族の一員として過ごすことができるようになった。週末はそれぞれの家庭で過ごし、動物園に行ったり、ハイキングや乗馬をしたりパーティで集まるなど、楽しい思い出となった。ホストファミリーの方も生徒たちの滞在をととても楽しんでいただいた。

ホストファミリー宅でクッキング



ホストファミリーでパーティ！大勢集まりました



休日にバディーとダボー動物園にて

8. 学校の対応 (気さくな先生方)

Melissa Date (日本語の先生)さんが中心となって我々の滞在中の全てを準備・手配してくれた。初日には学校集会で日本からの生徒全員の紹介と代表挨拶があり、学校全体の歓迎ぶりがうかがえた。図書館の一室をESL(英会話クラス)用に使用し、司書室を付き添いの3人の教員の待機部屋としてとして提供していただいた。毎日一度は図書室で生徒と顔をあわせて話をし、生徒の様子を確認できた。司書の方々にはとても親切にいただき、お世話になった。



司書教諭がESL(英会話クラス)の助っ人に

9. ESLの授業 (しっかり適応していた)

John先生、Maureen先生、Smith先生の3名が交代で担当し、最初は25名1グループで、途中から12名、13名の2グループで授業が行われた。教材としてオーストラリアの動植物の話題や日本との文化の違いなどを使い、生徒には興味深い内容になっていた。最初は全く英語が理解できず緊張し発言も少なかったが、先生方の楽しい授業展開により、どの生徒も人前で英語を話すことにしだいに慣れていった。3校共同で語学力の差を心配していたが特に問題は感じられなかった。



図書館でESL(英会話学習)

10. フェアウェルパーティー

(8月5日18時~21時)

ホームステイのマジーを離れる前々日に「フェアウェルパーティー」が開かれた。ホストファミリー・バディー・マジー高校職員

などが学校の体育館に集まり、文化発表、スポーツ・バーベキューパーティーを楽しんだ。生徒は各学校で準備してきた出し物を次々と披露した。本校生徒は、日本調のデザインをあしらったTシャツを着て、ダンスを披露した。マジー高校から日本のそれぞれの生徒にプレゼントが渡され、コーディネーターのDate先生から涙の挨拶があった。



フェアウェルパーティーでダンス披露

11. 文化交流会

文化交流会は今回の研修の大きな目的の一つであり、事前に日本で十分な準備をしていった。能勢高校の生徒は、フェアウェルパーティー同様、日本調デザインのTシャツをまとい、小道具に扇やうちわを手にしてダンスを披露し、日ごろの練習の成果を発表した。他校の空手道の演武や日本伝統の手遊びなど、次々と日本文化を発表した。マジー高校側からは、生徒の歌あり踊りありでお互いの文化交流で大いに盛り上がった。

見送りへ

マジー出発の午前中は、各ホストファミリーで別れを惜しんで最後の時を過ごした。昼に学校に集合し、全員が別れを惜しんだ。再会することを約束し、涙の別れの挨拶をして、マジーを後にした。

7. マジー高校生が来日の予定

ホストファミリーのマジー高校生が、能勢の友人を訪ねてやってくる。9月に1人。そして、来年3月に1人。来年4月にはマジー高校32人の生徒が4人の先生の付き添いで、日本にスタディーツアーで来る予定である。



最後の記念撮影
(バスの乗り込む前に、ホストファミリー全員と)